

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : エドモンズコミュニティカレッジ

留学期間 : 平成 26 年 4 月 4 日 ~ 平成 28 年 2 月 1 日

アメリカ・シアトルで過ごした 10 ヶ月は、とても有意義な時間となりました。この留学で学んだ 1 番大きなことは「まず、思い切って行動すること。」です。私が利用したプログラム上、日本人と共に授業を受け、午後からは日本人の先生の授業というものでした。分からない事や、疑問に思っている事を簡単に質問できるという、安心感はありませんでしたが、それと同時に、このままでは学んだ英語を実践的に使う事ができないという危機感もありました。そして、私の予想は的中し、留学当初は英会話に伸び悩みました。英語を使う機会が少ない分、それだけ自分の英語力に自信が持てずじまいでした。そこで私は、家に帰ったら部屋にこもらず、寝る時以外はリビングでホストファミリーと共に時間を過ごすようにしました。家の手伝いも積極的にし、宿題も台所のテーブルでするようにしました。そうやって、少しでも多くの会話をしました。それでも、仕事があったり、就寝が早かったり、ホストファミリーと十分な時間を確保できませんでした。そこで、学校外でどこか英会話をメインとした集まりはないのかと、探しました。そして、私は 3 つの集まりを見つけました。その集まりは、毎週 1 回、放課後集まるものだったので、私は全てに参加しました。その中でも、ICF というものが私の英語力、そして人間性を成長させてくれました。ICF というのは、International Christian Fellowship の略で、キリスト教を学ぶ集いの事です。私はキリスト教ではないのですが、英語を話したい人やキリスト教を知りたいという人、誰でも受け入れてくれます。初めて ICF に参加した時、正直とても戸惑いました。なぜなら、そこにいた人みんな英語がペラペラだからです。アジア人であろうと、アフリカ出身であろうと、ほぼ全員が英語を流暢に話せていました。今まで自分なりに必死にやってきたのに、自分はまだまだだと、自分が小さく、無知な気がして最初はとても辛かったです。それでも、そんな私にみんな優しく接してくれて、どんなに時間がかかっても、しっかりと私の話を聞いてくれました。日本にいた頃は、自信がない、失敗したら恥ずかしいなどと言って、逃げてきました。でも、そんな自分を変えたい一心で頑張ってた通う内に、徐々に会話力も伸び、発音や仕草・アクセントなども身につけていきました。会話力が伸びるにつれ、外国人の友人の量も増えていきました。ICF や、他の集まりで出来た友人たちと放課後遊んだり、旅行に行ったり、とにかく英語を話す時間を作りました。その地道な努力のおかげで、新しくできる外国人の友人に「あなたは英語が母国語ですか？」と聞かれるほどになりました。初めてその質問をされた時は、本当に嬉しくて、やっと自分の努力が周りに認められたのだと、実感しました。それから自信がつき、さらに行動の場を広げて、たくさんの人たちとコミュニケーションをとりました。先生にも認められ、卒業式の際、卒業生代表として英語でスピーチをしました。とてつもない緊張とプレッシャーを感じましたが、自分が取り組んできた事や、今までの努力を信じて頑張りました。スピーチが終わった後、たくさんの人が「スピーチとても良かったよ。」と声をかけてくれました。この英会話力と自信は、思い切って、あえて自分を辛い環境に置いたことによって、得られたものだと思います。私はもう一つ、大きく行動した事があります。それは、「運動会の設立と実行」

です。私たちのプログラムは人数が多く、3つの学校に別れていました。同じプログラムなのになかなか知り合えず、共に時間を過ごす事ができない事を解決したいと思い、同じプログラムの生徒全員で運動会をしようと思いつきました。しかし、思いつくことは簡単でも、それを行動に移すことはなかなか難しいです。そこで私は各学校から代表者を決めてもらい、実行委員として招集しました。それぞれ宿題やテストで忙しいので、会議は全てスカイプで行いました。どんな競技をするのか、どこで開催するか、道具は何があるのか、どうしたらみんな仲良くできるのか等、決めることがたくさんあり、実行するまでに2ヶ月もかかりました。実際実行に移すのはさらに大変な作業でした。当日突然欠席する人や、天気が怪しかったりなど様々なハプニングがありました。それでも実行委員だけでなく、競技者のみんなも協力してくれて、なんとか無事に終えることができました。そしてみんなから「すごく楽しかったし、友達も増えて本当に良かった。ありがとう。」とってもらえました。その言葉を聞いて、みんなのために思い切って行動して良かったなと思いました。また、頑張って挑戦し悪戦苦闘していると、周りの人が助けてくれるということを実感しました。この10ヶ月、私は勉強も遊びも全力で取り組みました。目には見えないし、触ることもできないけど、この留学生活で私は成長したと思います。これから就職活動が始まり、また新たな人生が幕を開けます。きっとこれから辛いことや、くじけそうになることがあると思いますが、その時はまた思い切って行動します。行動することによって、何か新たに発見できたり、何かこれまでとは違うものが生まれると思います。私はこの留学で得た「行動力」をこれからの人生に活かしたいと思います。